

令和7年度第3回三鷹市農業公園運営懇談会及び実行委員会会議録

開催日時 令和7年12月17日（水曜日）午後6時30分から午後8時20分まで

開催場所 三鷹市役所第二庁舎4階 243会議室

傍聴者 なし

出席者 懇談会委員14人/16人

次第

1 座長あいさつ

2 議題

(1) 火気的使用方法について（継続）

【事務局説明】

資料2を基に事務局説明

（質疑・応答）

【委員】利用者への周知方法は、周知文を現地に貼るのか。

【事務局】申込時に提示する。またバーベキューエリアに区画割りのコーンを設置しているので、コーンに貼付して火気利用中もわかるようにする。現状、自由広場にはコーンを設置していないので、今後は設置するかを緑化センターと相談したい。

【委員】市ホームページや市報に掲載することはできないか。火気利用者だけではなく第三者とも使用方法を共有することで「見守りの目」がある環境を作り、園内の最低限の基準を理解してもらうことができるのではないか。

【事務局】市ホームページは随時掲載できる。

【副座長】市報にも小記事であれば掲載できると思うので、なるべく早い時期に掲載できるよう調整する。

【委員】使用後にチェックは行っているのか。

【委員】終了後は立会いをして、ゴミ等が落ちていないかなどをチェックしている。

【委員】周知文案の最終文「長く維持するため」は唐突に感じる。例えば「園内の良好な環境を維持するため」などが良いと思う。

【副座長】「環境」にするか「土」にするか。

【事務局】そこも含めて、最後の締めくくりの文章を再作成する。

【座長】実際に運用してみて、利用者や緑化センターからの意見を聞きながら、都度検討するようにしたい。

(2) 令和8年度事業の検討について（継続）

【事務局説明】

資料3を基に事務局説明

（質疑・応答）

【座長】前回の会議で5つの提案があった。1つ目は今年度に引き続き、農業公園を第二会場として使用する案。今年度の農業祭で初めて農業公園を第二会場として使用したので、どのような様子だったのかご報告をお願いしたい。

【委員】農業祭のコンセプトのひとつに「三鷹農業のPR」があるため、三鷹産農産物の販売拠点である三鷹緑化センターの周知もひとつの目的としていた。農業公園に足を運んでもらうため、防災公園・元気創造プラザと農業公園・緑化センターでスタンプラリーを実施し、ゴール地点を緑化センターに設置した。農業公園内ではトラクターの乗車体験とキッチンカーを出店し、楽しんでもらえるような工夫をした。二日間で想定以上の人数が来場したため、一定の目的は達成されたと考えている。来年度も引き続き使用したい。

【委員】一般客として農業祭に参加した。子どもがたくさん来ていて楽しんでいる様子だった。また品評会などもあり楽しめた。

【委員】緑化センターでスタンプラリーの手伝いをしていた。非常に多くの方がスタンプラリーを楽しんでくれたと思うが、来年度は時間設定を検討しないといけないという課題が見つかった。

【委員】時間設定とは、具体的にどのような懸念事項か。

【委員】第一会場が防災公園、第二会場が農業公園・緑化センターだったが、1日目は第一会場の一般公開時間が13時～17時で、緑化センターは9時～17時。2日目は第一会場一般公開時間9時～12時までで、第二会場は9時～17時だった。来年度は両会場の開始時間は揃えた方が良いと思う。

【事務局】スタート地点を防災公園のメインアリーナに設定していた。品評会の審査や販売に影響するた

め、一般の方への開場時間が制限されていた。ゴール地点では受け入れ体制を整えていたが、スタート地点に入場できないため、なかなか開始されない状態だった。

- 【委員】** 来年度はスタート地点を品評会の会場ではなく、一般の方が入場制限をされない場所を選ぶと良いと思う。
- 【委員】** 農業祭の大きな目的は農業を知ってもらうこと。品評会は農業祭の大きなイベントなので、多くの方の目に触れるようにスタート地点に設定していた。来年度以降は今回の反省を踏まえて考慮したいと考えている。
- 【委員】** 品評会は農家の農業技術の向上などの面でも大事な要素なので、そのような部分も加味しながら来年度以降検討したい。補足として、今回のスタンプラリーでは景品の花を608ポット提供した。緑化センター・農業公園のPRもできたと感じた。
- 【座長】** 1つ目の提案の報告は以上とします。次に2つ目の提案の「農家の畑に行って農業体験を行う」ことについて、農業公園管理という点で考えると、農家の畑に行く「きっかけ」は作れるが、その後をどのように進めるのか検討が必要。また農業公園外の活動となるため、農業公園との関連性は低いのではないかと思います。昨年度の農業公園20周年事業でも農業体験を行ったが負担が大きかった。今年度の実施ではなく、節目の年に実施したほうが良いのではないかと。
- 【委員】** 異議なし
- 【座長】** 次に3つ目の提案「農業公園を会場とした講習会等の開催」について、これは農業とはどのようなものなのかを運営懇談会が発信して講習会等を開催する、という提案。運営懇談会の中だけでの完結は難しいため、緑化センターや農業者への負担に繋がりにくい。先ほどと同じように節目の年などに、時間をかけて検討したほうが良いのではないかと思います。
- 【委員】** 農業公園には災害時に使用できる設備があることをPRしても良いと思う。
- 【事務局】** かまどベンチを設置している。また災害時は農業公園が一時避難場所となる。
- 【委員】** 市内の複数の公園で、町会が災害時在宅生活支援施設を設置することが多い。防災課が園内に倉庫を設置し、災害時に必要なものを町会と相談しながら備蓄している。ただし倉庫を設置するため、公園の使用スペースが少し狭くなる。
- 【座長】** 災害時に向けて少しずつ話を進めていきたいと思う。次に4つ目の提案「暑さ対策のポールミストを園内に設置」することについて意見を聞きたい。
- 【委員】** 昨今の酷暑対策のため、ポールミストの導入は必要だと思うが、設置する場所は検討が必要だと思う。
- 【事務局】** 事業費が数千円～数百万円と記載しているが、数千円のもの通常のホースに穴をあけてミストのように使う。この方法だと水の開け閉めを緑化センター側に管理してもらわないといけないので同センターと要調整。
- 【委員】** 防災公園にミストを設置したが、事業費は500万円程度で2分の1は東京都の補助金。ボタンを押すと30秒間ミストが出る設備。夏季のみ稼働している。
- 【委員】** 大沢グラウンドでもミストを使用している。地面がアスファルトだとミストやテントを設置して暑さ対策をするしかないが、農業公園は地面が土なので、設備よりも木（イチョウヤケヤキ）を増やすことはできないのか。日陰を増やすことで暑さ対策にもつながると思う。ミストなどの設備は、設置費だけではなく設置後も費用がかかる。
- 【委員】** 近年の園内の木々について、成長した木の枝が隣の木の枝と拮抗して正常に育たないため、間引く方向性で管理していた。
- 【座長】** 園内の木の管理について、緑化センターの植木組合も管理に加わっているの、意見を聞きたい。
- 【委員】** 高木が多いので管理の面では大変。新しい木を植えるとなるとメンテナンスは必須となる。成長後のことを考慮しながら植える場所、本数、樹種を検討する必要がある。
- 【座長】** 木を植える場合は、適した樹種や場所を検討しなければ、その後の管理が大変になる。
- 【事務局】** 数年前から園内の木が干渉し合っていることが問題となっていた。当時の運営懇談会で桜を中心にした公園にする「from now on」という計画を立てて、桜以外の木を剪定してきたところである。もし新しく木を植えるなら、桜の木のほうが計画に沿っているのではないかと。
- 【座長】** 新しく木を増やすことに関しては、今後の運営懇談会で話し合いが必要だと思う。
- 【副座長】** 次の5つ目の提案「1日メンテナンス体験」は、前回の会議後に座長と事務局との話合いで提案したもの。会議室ではなく、現地を見ながらミストの設置場所や植樹場所を検討したり、農業公園を会場としたイベント等を検討できればと思う。実際の現地を見ることで管理の大変さなどを考慮できると良いのではないかと。
- 【座長】** 園内の草刈りは緑化センターの出店者会が行っている。この作業が非常に重労働で、約7～8

名が自前の草刈り機等を使用して無償で行っている。運営懇談会で管理の実情を把握して、さらに深い検討ができれば良いと思う。

- 【委員】** 市内の複数の小学校で球根や種をポットに植えているので、成長したものを農業公園内に植え替えるイベントがあっても良いと思う。農業公園は植木が多い印象なので、小学生に時季の花を植えてもらうイベントがあると楽しめると思う。四季折々の花が見られるとより楽しめると感じた。
- 【委員】** 農業公園を利用しているが、園内の配置などは何となくしか見ていない。事業を検討する上で、現地を実際に見て、体験できるとより良い提案が出来ると思う。
- 【委員】** 春は桜がきれいだと思うが、他の季節は木が多い印象。時季の花があるとより楽しめるのではないかと思う。ただ夏は蚊がとて多いので利用するのに躊躇する。何か対策はあるのか。
- 【座長】** やぶ蚊は定期的な農薬管理で減少させることはできるが、園内に農薬を散布することは大変。
- 【委員】** 樹名板の補修はした方が良いと思う。樹名板自体は何十年も持つので、補修をして維持させたい。
- 【委員】** ヒガンバナの移植について、5～6月になると枯れて休眠期に入るので、その時期が移植に適していると思う。
- 【委員】** ヒガンバナは移植しても枯れないのか。
- 【委員】** 枯れない。
- 【委員】** 現地で確認しながら検討するのは良いと思う。机上よりも建設的な議論が出来ると思う。
- 【座長】** 現地の確認を行った上で、次回以降、事業の検討を進めたい。

3 その他

【事務局説明】

市民より園内の伐採後のケヤキの取扱いについて意見があった。現在は、伐採後のケヤキを椅子や子ども達が遊びに使えるように土に固定せずに置いている状態だが、子どもがケガをする危険性があるため固定したほうが良いのではないか、との意見があった。今後の対応について検討したい。

(質疑・応答)

- 【委員】** 市内の公園には動く木などは置いていない。遊具なども安全面を第一に設置している。ただ園内の伐採した木を再利用するという面では、他の公園にはない特性だと思う。
- 【副座長】** 固定する方法はあるのか。
- 【事務局】** 土に杭を打って縛り付けることはできると思う。
- 【委員】** 固定されている遊具で怪我をした場合は公園管理側の責任になると思うが、固定されていない遊具で怪我をした場合は、危険な遊び方や扱いをした個人の責任だと思う。伐採後のケヤキはいろいろな場所に動いているので、遊びとして使用されている証だと思う。
- 【座長】** 多方面からの様々な意見がある。
- 【委員】** このことを含めて、なるべく早めに現地の確認を実施したい。今年度中に都合が良い人で集まって現地の確認をして、次回の運営懇談会で報告するのはどうか。
- 【副座長】** 4～5月の運営懇談会で現地確認を行っても良いのではないかと。4月以降、体制が変わる可能性があるため、顔合わせも含めて現地確認できれば良いと思う。
- 【委員】** ヒガンバナの移植時期が5～6月と想定すると、移植場所等含めて早めの現地確認が良いと思う。人数が少なくても今年度中に現地確認を行えると良いと思う。
- 【副座長】** 3月は議会月なので1～2月が良い。
- 【事務局】** 2月9日（月）の午後1時半から実施したい。
- 【委員】** 異議なし。
- 【座長】** 現地見学会を2月9日（月）午後1時半より実施、次回の令和8年度第1回運営懇談会は5月頃を予定しています。運営懇談会については日付が決まり次第、文書にて通知します。